



高輪だより

令和3年度 12月号
港区立高輪幼稚園
園長 柿沼 敦子

自ら伸びようとする姿を応援する

園長 柿沼敦子

美しい落ち葉が秋の深まりを感じる園庭で子どもたちは元気いっぱい遊びを楽しんでいます。

園庭にはいくつかの固定遊具があり、毎年、園児がそれぞれの興味に応じて関わっていく姿を見てきました。雲梯に興味を示した子どもは、初めは、ひとつ目の棒に慎重に片方ずつ手を伸ばし、両手でぎゅっと掴むと、そっと梯子から足を離してぶら下がります。そして掴んでいた手を棒から離し、ぽんと地面に着地します。鉄棒は、両手でぶら下がるところから楽しみます。がたがた滑り台の滑り面を上り始める時は、手の指先で丸太にぐっと力を加えながら、片方ずつ足を運んで上り始めます。どれもできたことがうれしいなのでしょう。何度も何度も繰り返します。とても愛しい姿です。この繰り返しがとても大事なステップです。そんな時、先を急がせることをせず、自分なりに試し、小さな達成感を楽しんでいる姿を見守ることは大切ではないでしょうか。危ない場面では直ぐに対応できるようにして、心の中で応援します。そして、できた思いに大きく共感します。自分でできたと確信できると次のステップに自ら挑戦していきます。スモールステップを繰り返すうちに、集中力や持久力、次に進むエネルギーが蓄えられていきます。こうした自信の積み重ねが、やがて、小学校の学びに向かう力に通じ、かけがえのない自分を感じながら、たくましく成長していくことでしょう。子どもたちが自ら伸びようとする姿を応援していきたいと思います。

さて2021年も残すところ1か月となりました。2学期の始まりは、午前保育となりましたが、新型コロナウイルス感染者数は減少し、運動会や遠足などの行事を行うことができ、普段の保育も充実しました。先日の高輪タイムでは保護者の皆様のご参加ありがとうございました。子どもたちにとって大変うれしい日となり、親子の笑顔が弾けました。子どもたちの元気な姿に希望の光を感じ、新しい年が始まりそうです。地域の皆様、保護者の皆様、来年も子どもたちの成長を支えていただきますようお願い申し上げます。

<今月の指導のねらい>

<3歳児>

- 楽器や遊ぶものをつくって教師や友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。
- 自分の思いを自分なりの言葉や動きで教師や友達に表しながら遊びを楽しむ。
- 冬の季節のはじまりや年末の雰囲気を感じる。

<4歳児>

- 自分の思いや感じたことを友達に言葉で伝えたり、相手の思いを知ったりして、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる。
- 学級の友達と一緒に音やリズムを感じながら、歌や楽器あそび、ダンスをする楽しさを味わう。
- 季節の事象や年末年始の雰囲気を感じ、関心をもつ。

<5歳児>

- 鬼遊びなど学級の友達とルールのある遊びを楽しんだり、ボール投げ・まりつきや縄跳びなどにすすんで挑戦したりしながら体を十分に動かして遊ぶ楽しさを味わう。
- 友達と刺激し合いながら、自分の目標に向かって挑戦したり、友達と協力して遊びを進めたりする楽しさを味わう。
- 季節の変化や、年末年始の伝統行事に関心を持ち、自分たちの遊びや生活に取り入れていく。

わくわく ぽかぽか
みんなえがおの
たかなわようちえん

高輪タイム(親子活動)

3歳児

どんぐりパラシュートづくり



4歳児

コリントゲーム
づくり



5歳児

オーナメント
づくり

